

第3章 スポーツ振興の基本的な考え方

3-1 計画の体系

【基本理念】

『全ての市民が豊かさを実感できる 鯖江型の生涯スポーツ社会の実現』

いつでも、どこでも、誰でも……それぞれのライフスタイルに応じて、身近な地域で気軽にスポーツに親しめる社会
 だれでも、いつまでも、性別、年齢、障がいの有無などに関わらず、各々の興味・関心、適性などに応じて
 スポーツを続けられる社会

【基本目標】

- 生涯スポーツに親しむひとを育てる**
 スポーツを通じて豊かな生活を実現することは全ての人に保障されるべき権利であるため、全ての市民がその自発性のもと、生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境を整備し、「する」「みる」「支える」などを通じてスポーツの振興に関わることができるひとを育てます。
- スポーツを通じた元気で活力あふれるまちをつくる**
 豊かなスポーツライフを実現するための基礎となる地域においては、地域特性を活かしたスポーツイベントの開催などを通じた地域間の交流、地域内での異世代間の交流により、地域の一体感や活力を醸成するとともに、人間関係の希薄化などの問題を抱える地域社会の再生を図り、元気で活力あふれるまちをつくります。
- スポーツ活動をより充実させるためのネットワークを広げる**
 スポーツを市民に普及・定着させ、より身近なものとするため、(一社)鯖江市体育協会、総合型地域スポーツクラブなどの各種スポーツ団体、学校、行政などが組織の枠を越えて連携・協働し、地域における身近なスポーツ活動と競技スポーツ間の人材の交流、一貫した指導理念に基づいた指導体制の構築など、スポーツ活動をより充実させるためのネットワークを広げます。

【基本方針】

- 身近なスポーツ機会・情報の提供**
 ・身近なスポーツ機会の提供 ①②③
 ・スポーツ情報の提供 ④⑤⑥
- 青少年スポーツの振興**
 ・子どもの体力向上・健康づくり ①②③
 ・青少年スポーツ環境の充実 ④⑤⑥
- 総合型地域スポーツクラブの活性化**
 ・活動プログラムの充実、地域住民への周知①②
 ・運営基盤の安定・充実 ③④
 ・クラブ間の交流・連携 ⑤⑥⑦
- 既存施設の有効活用・改修**
 ・既存施設の有効活用 ①②③
 ・既存施設の充実 ④⑤
- 高齢者・障がい者スポーツの充実**
 ・高齢者スポーツの充実 ①②③
 ・障がい者スポーツの充実 ④⑤⑥
- スポーツを通じた地域づくり**
 ・スポーツによる交流 ①②
 ・地域スポーツの充実 ③④⑤
- 各種団体間の連携・協働の推進**
 ・各種団体の育成・支援 ①②
- 生涯スポーツを支える人材の育成**
 ・スポーツ指導者の育成・支援 ①②③
 ・スポーツボランティアの育成活動支援 ④
- 競技力向上のための支援体制の充実**
 ・競技者の育成・支援 ①②③
 ・競技スポーツ指導体制の充実 ④⑤

【具体的施策】

- ①スポーツ大会・イベントの充実
 ②地域性を活かしたスポーツイベントの充実
 ③健康教室・スポーツ教室の開催
 ④スポーツ大会・イベント・教室に関する情報の発信
 ⑤スポーツ施設に関する情報の充実
 ⑥スポーツに関する意識の啓発、市民意識の把握
- ①子どもの体力の維持・向上
 ②小中学校でのスポーツ活動の工夫・改善
 ③小中学校での食育の充実
 ④子どもたちが体を動かしたくなる場の充実
 ⑤スポーツ少年団など地域での青少年スポーツ活動の充実
 ⑥学校と各種スポーツ団体との連携強化
- ①活動プログラムの見直し・充実への支援
 ②活動内容のPR
 ③総合型地域スポーツクラブの運営安定
 ④クラブマネージャーの育成
 ⑤総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の継続・発展
 ⑥合同での活動プログラム、イベントなどの実施
 ⑦指導者間の交流
- ①スポーツ施設の利用増進
 ②開放学校、公民館併設体育館の利便性向上
 ③指定管理者制度によるスポーツ施設の適正な運営・管理
 ④既存施設の改修、バリアフリー化の推進
 ⑤野外活動施設の充実
- ①高齢者向けのスポーツメニューの充実
 ②高齢者向けのスポーツイベントの開催
 ③高齢者の健康の維持・増進
 ④障がい者向けのスポーツの振興
 ⑤障がい者スポーツイベントの開催
 ⑥障がいの有無を問わず誰もが参加しやすい環境づくり
- ①全国的なスポーツイベントの開催
 ②スポーツを通じた様々な交流の促進
 ③地域性を活かしたスポーツイベントの充実(再掲)
 ④地域スポーツ団体への支援
 ⑤職場におけるスポーツの奨励
- ①(一社)鯖江市体育協会の育成・支援
 ②組織の枠を越えたネットワークづくり
- ①スポーツ推進委員の委嘱・資質向上
 ②スポーツ指導者の資質向上・資格取得への支援
 ③ニーズに応じたスポーツ指導者の紹介
 ④スポーツボランティアの育成
- ①競技力向上のための機会の充実
 ②競技者の意欲向上への支援
 ③体操、駅伝など、地域で育まれてきたスポーツの振興
 ④一貫指導体制の確立
 ⑤競技スポーツ指導者の育成

【「鯖江型」の取り組み】

- スポーツ施設、総合型地域スポーツクラブなど、充実したスポーツ環境の有効活用
- 全国トップレベルの子ども体力の維持・向上
- 健康・長寿を目指した生涯スポーツの推進・展開
- 体操・駅伝の振興で育むスポーツのまちづくり

3-2 基本理念

スポーツは、「こころ」と「からだ」を健全に育むとともに、人と人との交流を深め、明るく活気に満ちた、生きがいのある生活を送るうえで重要な役割を果たしており、価値観やライフスタイルが多様化する今日において、その重要性がますます高まっています。

鯖江市の今後のスポーツの振興を図る上での基本的な考え方として、「全ての市民が豊かさを実感できる 鯖江型の生涯スポーツ社会の実現」を基本理念に設定します。

全ての市民が豊かさを実感できる 鯖江型の生涯スポーツ社会の実現

～いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも 気軽にスポーツを～

鯖江市は、3つの総合型地域スポーツクラブをはじめ、開放学校や公民館併設体育館の充実など、他都市に比べて恵まれたスポーツ環境にあります。更なる利便性の向上、効率的な運用により、既存ストックの有効活用を図り、市民の満足度の向上につなげていく必要があります。

このため、『全ての市民が豊かさを実感できる 鯖江型の生涯スポーツ社会の実現』を基本理念として、恵まれた環境を最大限に活用し、全ての市民が生涯にわたっていきいきとスポーツに親しみ、スポーツを通じて「こころ」の豊かさと「からだ」の健康を実感できる「鯖江型」の生涯スポーツ社会の実現を目指します。

「いつでも、どこでも」

それぞれのライフスタイルに応じて、身近な地域で気軽にスポーツに親しめる社会

「だれでも、いつまでも」

性別、年齢、障がいの有無などに関わらず、各々の興味・関心、適性などに応じてスポーツを続けられる社会

3-3 基本目標・基本方針

前回計画において重点施策（3つの柱）として位置づけられていた「ひとづくり」、「まちづくり」、「システムづくり」を基本として、今回計画の基本理念である「全ての市民が豊かさを実感できる 鯖江型の生涯スポーツ社会の実現」に基づいて、基本目標を設定します。

また、基本目標毎に、目標を達成するための基本方針を設定します。

基本目標1 生涯スポーツに親しむひとを育てる

スポーツを通じて豊かな生活を実現することは全ての人に保障されるべき権利であるため、全ての市民がその自発性のもと、生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境を整備し、「する」「みる」「支える」などを通じてスポーツの振興に関わることができるひとを育てます。

《基本方針》

●身近なスポーツ機会・情報の提供

現在はスポーツを行っていない人に対して、スポーツを始めるためのきっかけとなる機会の提供に努めます。また、市民の誰もが、容易にスポーツに関する情報を入手できるように、各種団体と行政が情報を共有し、多様な情報媒体を活用した分かりやすい情報提供に努めます。

●青少年スポーツの振興

青少年期のスポーツ活動は、心身の健全な発達、豊かな人間性の育成に大きく寄与するため、小中学校と総合型地域スポーツクラブの連携などにより、地域全体で青少年スポーツの振興を進めます。

●総合型地域スポーツクラブの活性化

今後の生涯スポーツ振興の根幹となる総合型地域スポーツクラブについて、各クラブの活動プログラムの充実を図るとともに、3つのクラブが互いに連携・協働できる体制づくりを進めます。

基本目標2 スポーツを通じた元気と活力あふれるまちをつくる

豊かなスポーツライフを実現するための基礎となる地域においては、地域特性を活かしたスポーツイベントの開催などを通じた地域間の交流、地域内での異世代間の交流により、地域の一体感や活力を醸成するとともに、人間関係の希薄化などの問題を抱える地域社会の再生を図り、元気と活力あふれるまちをつくります。

《基本方針》**●既存施設の有効活用・改修**

既存のスポーツ施設について、施設の効率の活用、利便性の向上などによる有効活用を図るとともに、老朽化した施設の改修などを進め、身近なスポーツ環境の充実を図ります。

●高齢者・障がい者スポーツの充実

高齢者や障がいのある人が、年齢や障がいの程度に応じてスポーツに親しむことができるように、高齢者・障がい者向けのスポーツ活動の充実を図ります。また、障がいの有無に関わらず誰もが参加できる活動メニューづくりなど、スポーツを通じたノーマライゼーションを推進します。

●スポーツを通じた地域づくり

地区体育協会や総合型地域スポーツクラブなどが中心となって、地域特性を活かしたスポーツイベントなどを行い、スポーツを通じた地域への愛着の醸成やコミュニケーションの形成を図り、魅力的な地域づくりへの貢献に努めます。



基本目標3 スポーツ活動をより充実させるためのネットワークを広げる

スポーツを市民に普及・定着させ、より身近なものとするため、(一社)鯖江市体育協会、総合型地域スポーツクラブなどの各種スポーツ団体、学校、行政などが組織の枠を越えて連携・協働し、地域における身近なスポーツ活動と競技スポーツ間の人材の交流、一貫した指導理念に基づいた指導体制の構築など、スポーツ活動をより充実させるためのネットワークを広げます。

《基本方針》

●各種団体間の連携・協働の推進

鯖江市におけるスポーツ活動の推進母体である(一社)鯖江市体育協会を中心として、スポーツに関する各種団体間の連携・協働を推進し、全市的に地域のスポーツ活動の質的向上を支援します。

●生涯スポーツを支える人材の育成

指導者やスポーツボランティアの育成・登録システムの整備、クラブマネージャーの育成など、スポーツを「支える」人材の育成を進めます。

●競技力向上のための支援体制の充実

県民スポーツ祭や、平成30年に開催される福井国体を見据えて、一貫した指導理念に基づく適切な指導、より質の高いまたは競技力のある選手や団体との交流などにより、競技力の向上を図ります。

